

■米国：ギネイ原子力発電所、1969年の初臨界から50年を経過

ギネイ原子力発電所（ニューヨーク州、PWR）を所有する Exelon は 2019 年 11 月 7 日、同発電所が 1969 年 11 月 9 日の初臨界から 50 年を迎えることを発表した。最新技術を用いた高経年化対策の実施や、立地地域との良好な関係を維持する努力等により、同発電所の設備利用率は通算で 95%以上、2016 年には最高の年間 99.6%を達成した。また同機は、毎年 200 万 t 以上の CO₂ 排出を抑制しながら、約 50 万の家庭や企業に電気を安定供給してきた。現時点で同発電所の運転期限は 2029 年 9 月 18 日である。このまま運転を継続した場合、同社が別に所有するナインマイルポイント 1 号（ニューヨーク州、BWR）の運転期限（2029 年 8 月 22 日）と同時期に、米国初の事例となる 1 回目の運転更新期限である 60 年を迎える。